

## オラクル XE のダウンロード

オラクル XE(eXpress Edition)は、無償で入手することが出来るデータベースソフトウェアです。

(参考 URL)

<http://journal.mycom.co.jp/news/2006/02/27/340.html>

オラクル社のページからダウンロードしてください。ダウンロードするにはユーザー登録が必要です。Windows 用の Oracle Database 10g Express Edition (**Universal**) をダウンロードしてください。

(↓オラクル XE がダウンロード出来るページの URL)

<http://www.oracle.com/technology/software/products/database/xe/index.html>

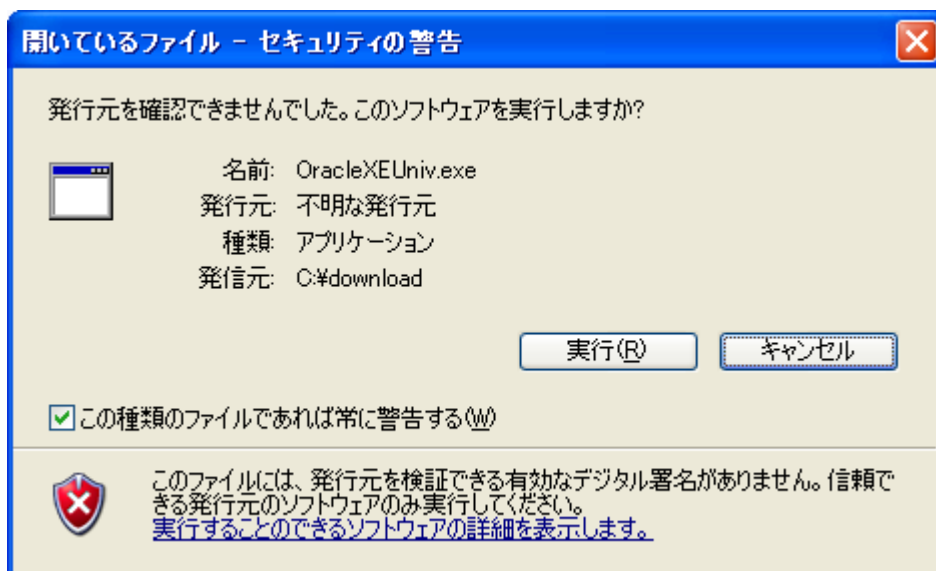
Oracle のユーザー登録をするには、↓このページにある、

<http://www.oracle.com/admin/account/index.html>

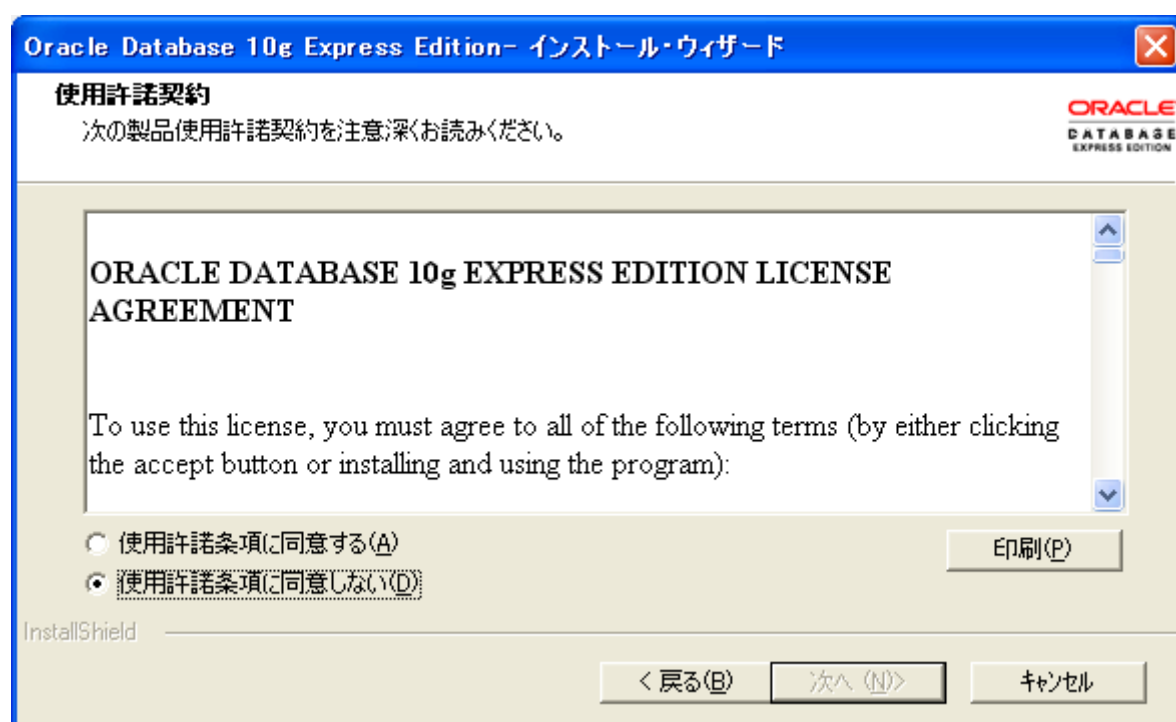
「お客様プロフィール(Oracle.com)を作成してください」というリンクからユーザー登録してください。

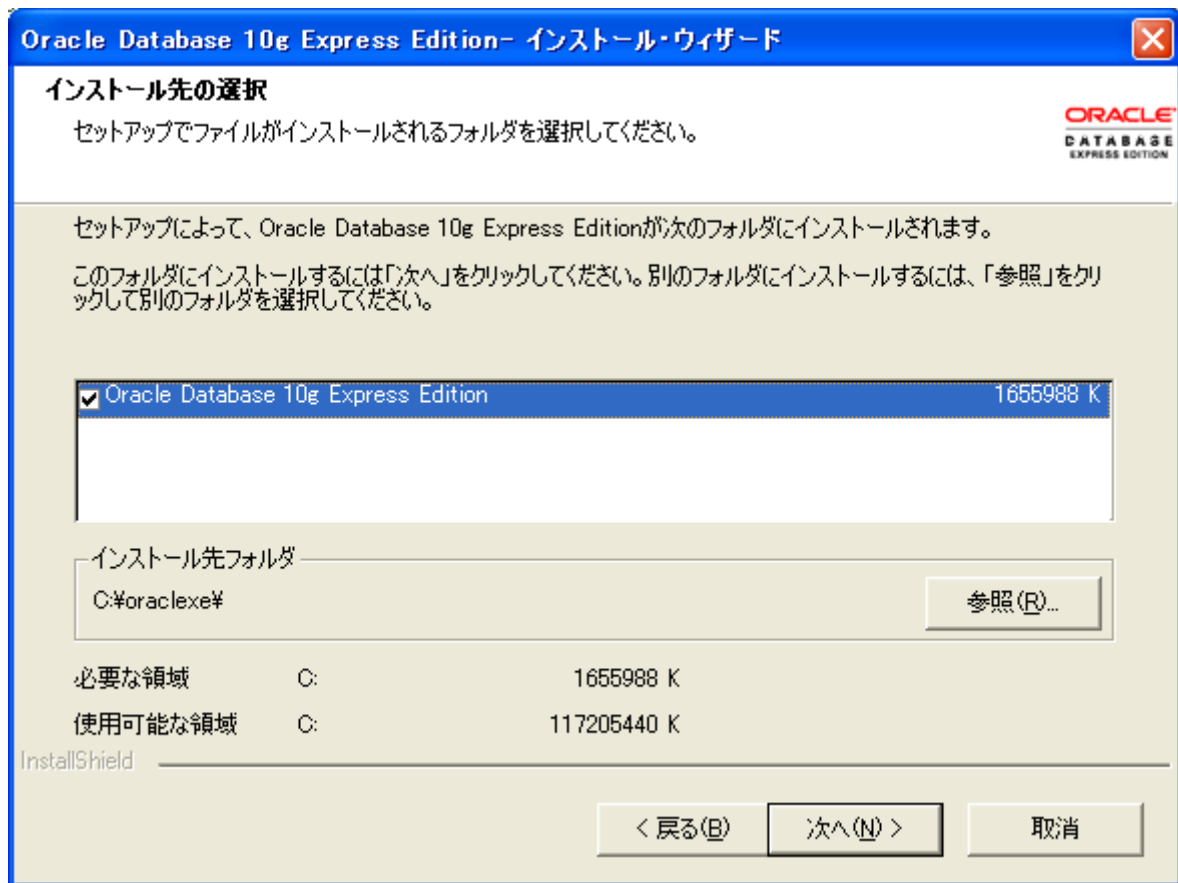
## オラクル XE のインストール

ダウンロードが完了したらインストール用の実行ファイルをクリックします。

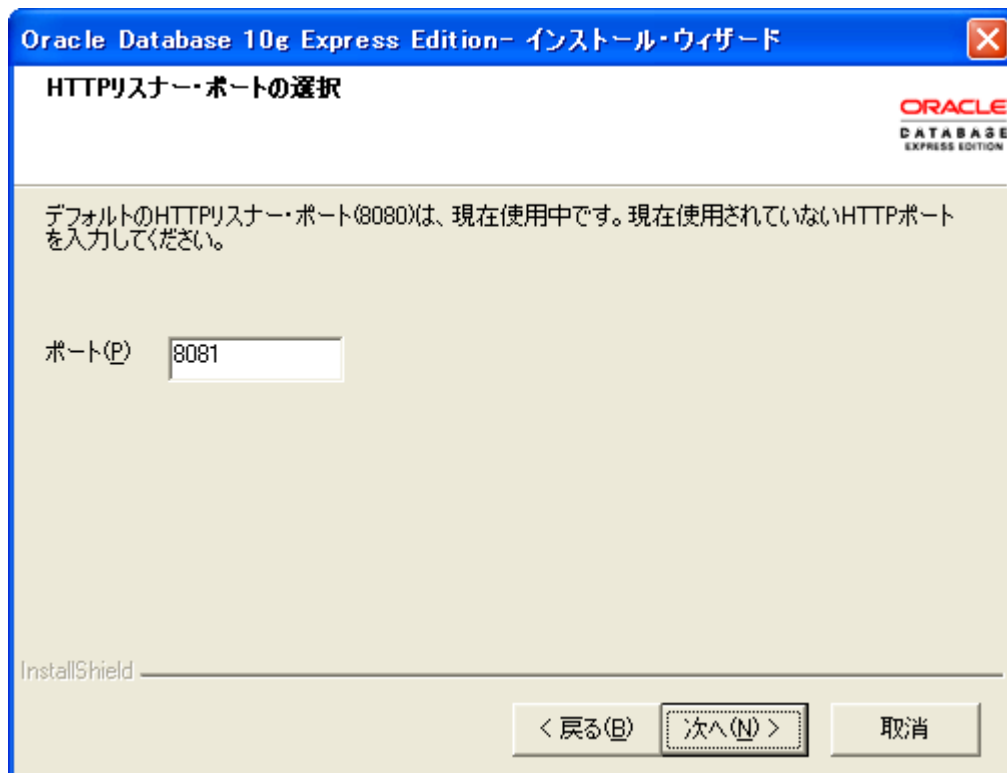


インストーラーが起動するので指示に従ってインストールして下さい。





Oracle のウェブ管理ツールはポート 8080 を使用します。  
8080 ポートがすでに使われていた場合は、以下の画面が表示されるので、任意のポート番号を指定してインストールして下さい。



データベースのパスワードを指定します。

パスワードは後で使うのでメモしておいて下さい。

**Oracle Database 10g Express Edition- インストール・ウィザード**

**データベース・パスワードの指定**

ORACLE  
DATABASE  
EXPRESS EDITION

データベースのパスワードを入力し、再入力してください。このパスワードは、SYSおよびSYSTEM両方のデータベース・アカウントに使用されます。

パスワードの入力(E)

パスワードの確認(C)

注意: インストールの完了後にデータベースのホームページにログインするには、ここで入力するパスワードでSYSTEMユーザーを使用する必要があります。

InstallShield

< 戻る(B)    次へ(N) >    取消

**Oracle Database 10g Express Edition- インストール・ウィザード**

**サマリー**

ORACLE  
DATABASE  
EXPRESS EDITION

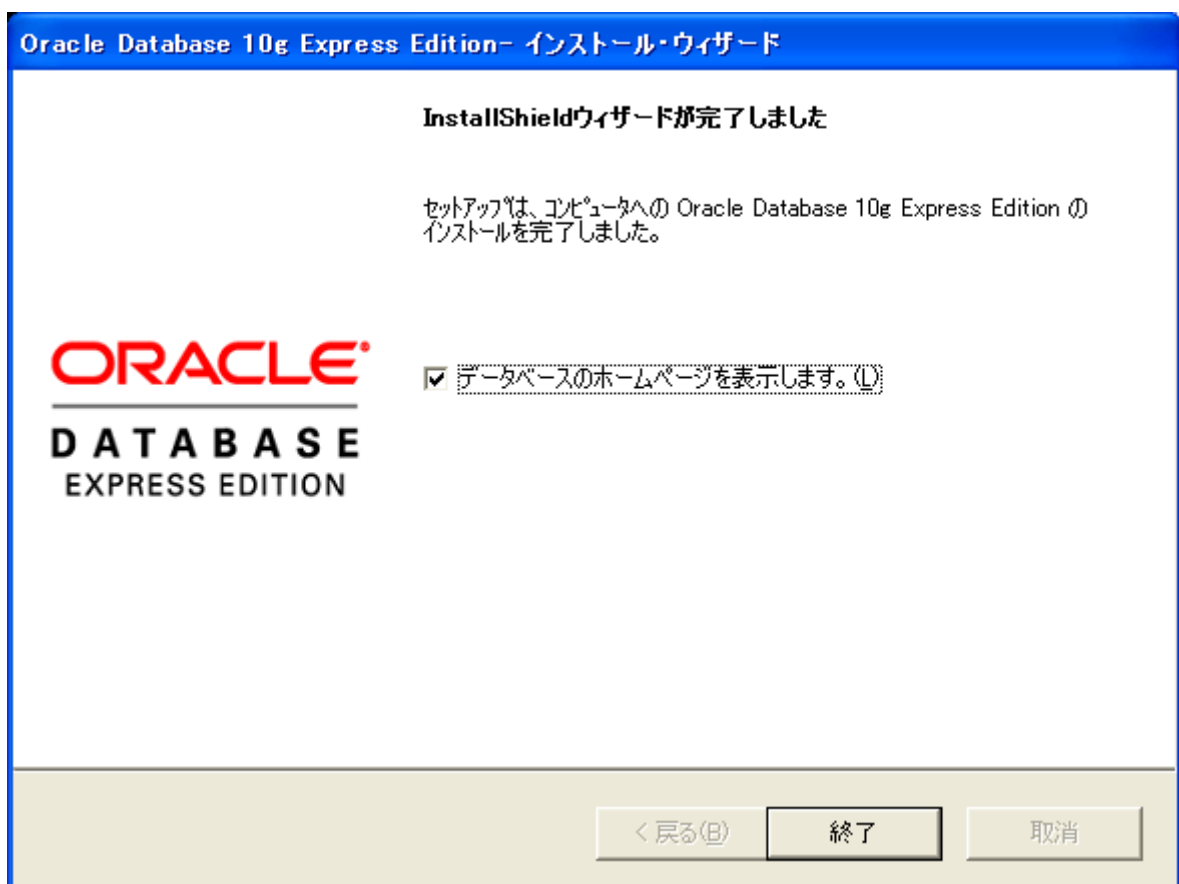
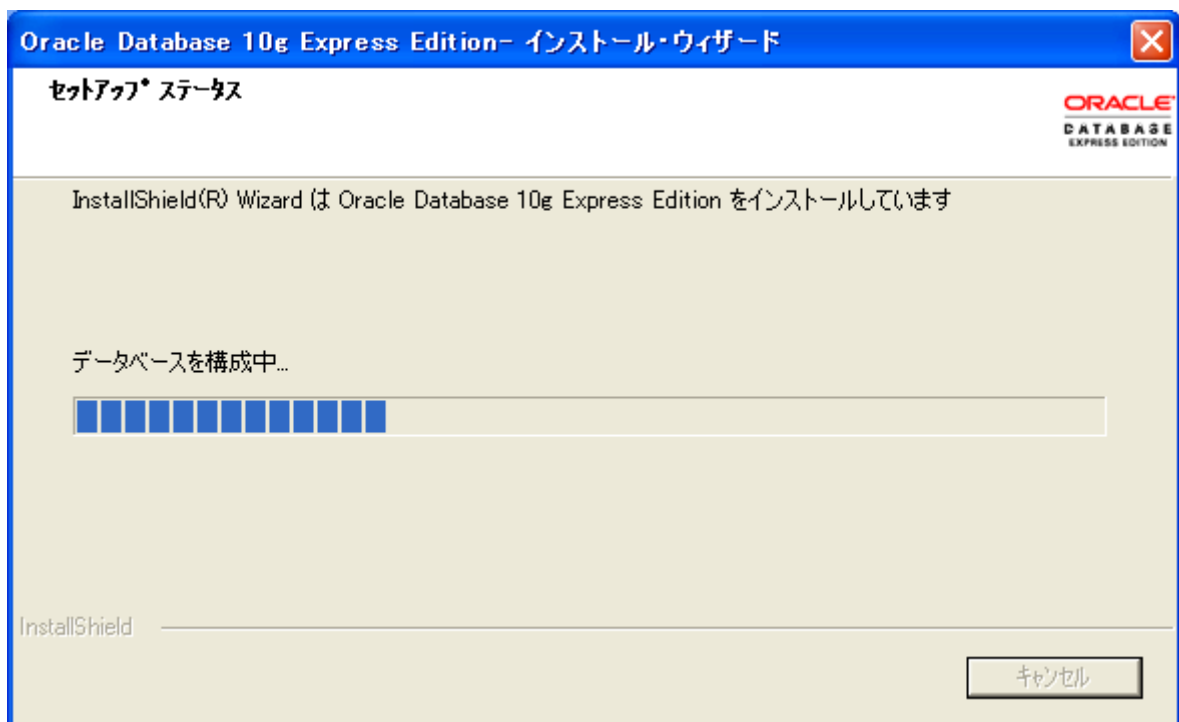
インストールを続行する前に設定を確認してください。

現在のインストール設定:

インストール先フォルダ: C:\oraclexe¥  
'Oracleデータベース・リスナー'のポート: 1521  
'Oracle Services for Microsoft Transaction Server'のポート: 2030  
HTTPリスナーのポート: 8081

InstallShield

< 戻る(B)    **インストール(I)**    取消

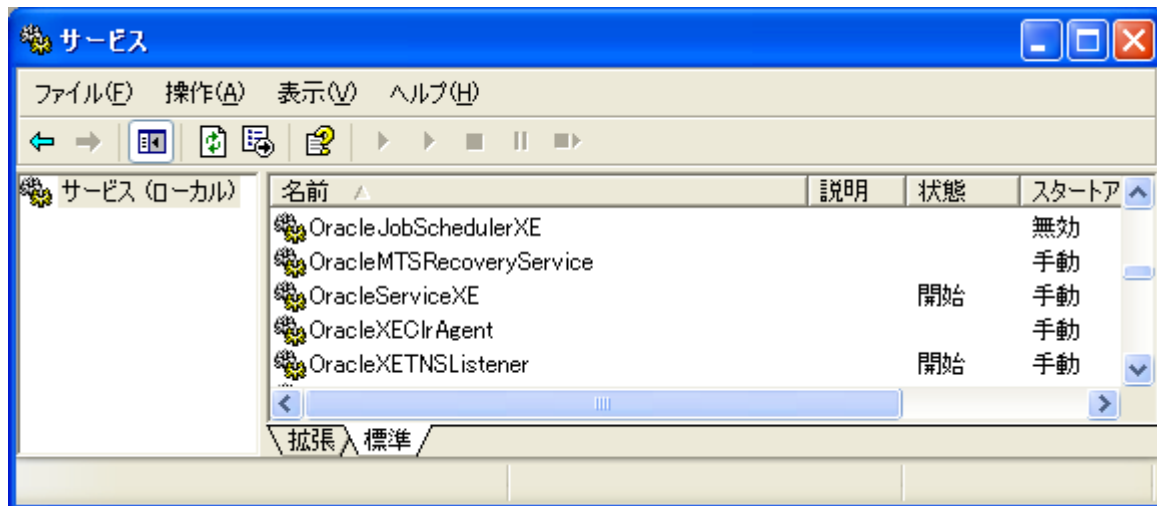
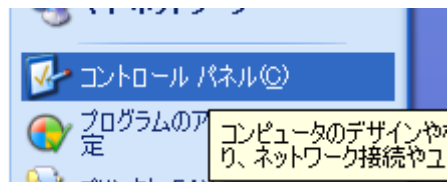
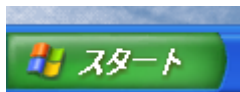


↑上の画面が出たらインストールは完了です。

ウィンドウズ起動時に Oracle を起動する設定にしていると、ウィンドウズの起動が遅くな

るので、Oracle の起動設定をします。

Windows のスタートメニュー（左下にある「スタート」ボタン）から「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「管理ツール」→「サービス」を選んで、「サービス」ウィンドウを起動してください。



OracleServiceXE を右クリックして、「スタートアップの種類」を「手動」にしてください。

OracleXETNSListener も同様に「手動」にしてください。

これでウィンドウズ起動時には Oracle は起動しなくなります。

Oracle を起動するときは「サービス」から OracleServiceXE と OracleXETNSListener を右クリック→「開始」で起動出来ます。

Adempiere を実行するときに、Oracle Xe を起動してください。